

<ウェブサイト公開用>

平成26年度 第1回児童福祉専門分科会 議事要旨

日 時	平成26年5月23日(金) 13:30～15:00
場 所	総合庁舎7階 会議室
出席者	(委 員)中川千恵美、岡修一郎、小野剛、藤並マサ子 山田祥隆、好川智也 (事務局)子どもすこやか部 田村、川西 子ども家庭課 菊地、高木 子育て支援課 栗橋 子ども見守り課 西島 子ども・子育て新制度準備課 関谷 保育室 寺岡 保育課 堀ノ内
議 題	1. 専門分科会長の選出及び代理者の指名について 2. 子ども・子育て会議の進捗状況について 3. その他
議事内容	(開会) (委員、事務局紹介) (会長、代理者の選任) 中川会長、井上代理者選任 (会長挨拶) ○会長 ・子ども・子育て新制度が来年4月からスタートするが、その新たな展開の中で児童福祉専門分科会の委員の皆様と情報を共有し、東大阪の児童福祉の問題を協議・検討していけたらと思う。 ○事務局 ・「子ども・子育て会議の進捗状況について」 新制度の主なポイント、今後のスケジュール、東大阪市子ども・子育て支援事業計画、条例案に関してのパブリックコメント等、説明。 ○委員 ・来年度以降も幼稚園に通われる子どものいる家庭について、保育料はどうなるのか。利用者の不安を解消するよう整理が必要。

○事務局

- ・市町村民税の所得の階層により、幼稚園の保育料は5段階の階層に区切られる。そのため上がる場合もあれば、下がる場合もある。減免の方法も含め、仮単価が国から示されると検討に入る。現在通っている施設に通えなくなるということはない。

○委員

- ・新制度に関する保護者からの問い合わせは今のところない。

○委員

- ・保育所（園）で保護者が保育料を支払っていない割合はどれくらいか。保育料の支払のない場合、保育をストップすることはできないのか。児童手当から保育料を引くことはできないのか。

○事務局

- ・収納率はここ数年96%代、督促等の未収金対策を行っているが、実際様々な事情で支払われていない方もいる。児童手当から保育料を引くことは現在行っている。

○委員

- ・保育料に対する親の責任と子どもの不利益は別問題であるということ聞いたことがある。新制度では保育料の徴収はどこがするのか。

○事務局

- ・幼保連携型認定こども園は直接契約となるので、園が行う。保育所（園）は今までどおり。幼保連携型認定こども園では、滞納が直接園の不利益となる可能性もある。保育所に預けることなく在宅における支援について検討したいと思う。

○委員

- ・子ども・子育て会議のなかで新制度についての議論がなされ児童福祉専門分科会で進捗状況について報告される。それに対し児童福祉専門分科会の委員はどのように関わっていけばいいのか。

○会長

- ・子ども・子育て会議では就学前から学童期くらいまでを対象としており、子ども子育て支援法に基づく認定や要件を検討する。児童福祉専門分科会

では進捗状況を報告してもらい、意見を出す。必要であれば子ども・子育て会議に持ち帰ってもらう。

○事務局

- ・両方の会議があり両方を合わせてひとつのものを作り上げていきたい。

○委員

- ・児童養護施設では子どもが学校に通っている日中はスペースがあるため、市の事業の活用に考えていけないのかと思う。

○委員

- ・今回の新制度は先に施策が決まり、その後に子ども・子育て支援事業計画ができる。先に施策が決まるのであれば、児童福祉専門分科会の委員の意見はどのように反映されるのか。児童福祉専門分科会のコンセンサスはとってほしい。

○事務局

- ・国が示した基準と東大阪の現行の基準を照らし合わせ、より質の高い基準について条例案を出している。国のスケジュールの関係から計画なしで進めていることになるが、できる限りのイメージや途中までの素案、情報を示しながら進めている。

○委員

- ・留守家庭児童育成クラブについて3年生までから6年生までに拡大されるのは良いことだが入所枠は増えるのか。

○事務局

- ・教育委員会の青少年スポーツ室が所管しているが、9月議会に設置条例を上程するため作業中であると聞いている。入所枠の確保についても検討されている。

○委員

- ・幼稚園や保育所（園）の開所時間は定められているのか。

○事務局

- ・保育所の保育時間は8時間、開所時間は11時間、幼稚園の教育標準時間は4時間。

○委員

- ・東大阪のファミリーサポートセンター事業では援助会員が少なく、依頼会員が多いという状況。地域において時間のある方が就労されている方の役に立てるような組織づくりができればと思う。

○事務局

- ・地域で支えていくのに地域のマンパワーがいる。地域で子育てを行っていかうという力を形成することが重要。

○会長

- ・地域で実践されている新たなアイデアや色々な取り組みについてご意見いただき、子ども・子育て会議でも具体的な施策として精査していけたらと思う。今後とも必要に応じてご意見いただきたい。

(閉会)